

e q u a l

イ コ ー ル

【発行・編集】福山市多様性社会推進課

福山市ホームページ <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>

2026.3 第63号

イコールとは「男女平等」を表しています。本市では、「一人一人が尊重され、個性と能力を生かせるまち」をめざし、男女共同参画社会の実現に取り組みます。



3月8日は「国際女性デー」

3月8日は「国際女性デー (International Women's Day)」と呼ばれる、国連が定めた記念日です。女性たちの成果を称えると同時に、教育・雇用・政治参加などに残る格差や不平等、暴力の問題を考える日とされています。国際女性デーは、別名「ミモザの日」とも呼ばれ、女性に感謝を伝え、ミモザのお花を贈る日となりました。

主な内容

- ◆ 福山市男女共同参画フォーラム2025
- ◆ 男性の育児参画促進事業
- ◆ 若年層の性暴力予防月間
- ◆ 男女共同参画の視点を取り入れた防災
- ◆ アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)⑤【地域・まちづくり編】
- ◆ 福山市男女共同参画推進表彰
- ◆ 新着図書・DVDの紹介
- ◆ 相談窓口を開設しています

男女共同参画フォーラム 2025 講演会

「自分らしく生きたいあなたへ」

～日々のモヤモヤから考える～

10/18

(土)

本市と男女共同参画登録団体等で構成する実行委員会の企画運営により、漫画家の瀧波ユカリさんをお迎えし、

「自分らしく生きたいあなたへ

～日々のモヤモヤから考える～」をテーマに、瀧波さんご自身の経験を交えてご講演いただきました。



講師：瀧波ユカリさん

- 1980年に札幌市生まれ、小学生からは釧路市で育つ。
- 2004年に月刊アフタヌーン4コマ漫画『臨死!!江古田ちゃん』で漫画家デビュー。
- 現在は講談社で「女性の生きづらさ」をテーマにした漫画『わたしたちは無痛恋愛がしたい』を連載中。

■講演の内容

- ・大きなテーマとしては、社会において「女らしさ」「男らしさ」がどのように定義され、その価値観を押し付けられているのか、そして、この現状をどのように変えていくのか。
- ・社会では、「女性は控えめで優しくあるべき」で「男性は強く自己主張するべき」だと定義づけられており、これらの固定観念が個人の自由を奪い、不自由や孤独を生む原因となっている。
- ・不自由や孤独に対抗する手段として、おかしいと思ったことを言葉にすること、自分を後回しにしないこと、やりたくないことはやらない。そうして自分が強くなることで、周りの社会も変わっていくので、変革のために小さな行動から始めることが重要。
- ・私たちが自分らしく生きるためには、性別に基づく固定観念や社会制度に対して疑問を持ち、行動することが必要。

参加者からの感想

- ・今まで何となくモヤモヤしていたことを言語化してもらった気がします。とてもおもしろいお話でした。
- ・高校生のこどもも参加しました。これからの社会を生きてゆく世代にこそ聴いて欲しい内容でした。中学校や高校などでも、こういった講演がなされると良いと感じました。
- ・もっと女性が、社会や職場で権利を持って女性ひとりでも尊重され、生きていける世の中になってほしいです。



- ・Uターンで福山に戻りましたが、女性が総合職として働く場がないことを痛感させられました。地方活性のために子育て支援はもちろん必要ですが、そもそも女性が進学・就職する際の人口流出を減らさなければ、根本的な解決にはならない。地方都市でも職種、給与体系、職場環境など、男女が同等に働ける場が増えることが必要と考えます。
- ・長年の刷り込みで、当たり前と思っていることも多く、「私」らしく生きるため勇気をもった一歩を踏み出したいと思いました。

受賞おめでとうございます!!

2025年度(令和7年度)福山市男女共同参画推進事業者を表彰しました!

前年度に「ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度」の更新を受けた事業者の中で男女共同参画の推進に向けて、特に優れた取組をしている事業者を表彰しています。今年度は、「青山商事株式会社」と「社会福祉法人アンダンテ」に決定し、2025年(令和7年)11月12日「ふくやまワーク・ライフ・バランス EXPO2025」で表彰しました。ここに表彰された事業者の取組を紹介します。

●ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度とは?

男女が働きながら「仕事と家庭の両立」を実現するための支援に、積極的に取り組んでいる企業を認定する制度です。認定基準としては、子育て支援・男女共同参画・働き方改革などに積極的に取り組む事業者を認定します。

青山商事株式会社



社会福祉法人アンダンテ



福山市副市長と記念撮影

【主な取組】青山商事株式会社

※2021年度に続いて2度目の表彰

- (1)育児休業中やその後の福利厚生制度が充実している。
- (2)セクシュアルハラスメントの防止や男女の役割分担意識を解消するための意識啓発や研修を行っている。
- (3)育児・介護休業促進のための意識啓発や研修を行っている。
- (4)女性の積極的な採用や管理職への登用を行っている。
- (5)仕事と生活の両立支援を行っている。

【主な取組】社会福祉法人アンダンテ

※2022年度に続いて2度目の表彰

- (1)育児休業中やその後の保障制度が充実している。
- (2)こどもや子育て中の家族を対象としたイベント等の開催や、子育てに関する意識啓発を行っている。
- (3)男女の役割分担意識を解消するための研修を行っている。
- (4)女性の活躍を推進する取組を行っている。
- (5)仕事と生活の両立支援を行っている。

詳しくは、

福山市男女共同参画推進表彰制度

検索

男性の育児参画促進事業

こどもといっしょに絵本作り &楽しもう！読み聞かせ (2025 子育て応援ウィーク関連イベント) in まなびの館ローズコム

11/3
(月)

子育て応援ウィーク関連イベントとして、親子で楽しめる絵本作り体験や絵本の読み聞かせを行いました。たくさん家族連れが楽しんでくださいました!!



参加者からの感想

- ・絵本を作るのは難しかったけれど、親子で楽しむことが出来ました。
- ・読み聞かせもあって良かったです。
- ・いい思い出ができました。
- ・自分なりに考えている姿を見ることができてよかったです。
- ・こどもが夢中になって参加できました。家でもやってみたいと思いました。 など



新着図書を紹介 貸出できます!

男女共同参画関連図書、DV関連図書をはじめ、行政・統計資料の図書の貸出し、ハラスメント関連のDVDなど、視聴覚教材の貸出しを行っています。企業等での研修などにもご活用ください。視聴覚教材の詳細については、ホームページに掲載しています。



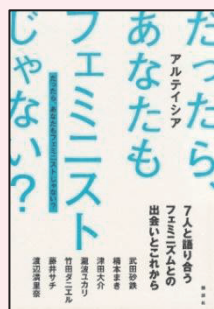
図書・DVD の貸出しに関する HP

<問合せ・お申込みはこちら>
多様性社会推進課(男女共同参画担当)
電話 084-928-1235

図書

「だったら、あなたもフェミニストじゃない？」 アルテイシア(著) / 講談社

フェミニスト=性差別に反対する人。
その反対語はセクシスト(性差別主義者)。
あなたはどっち!? 武田砂鉄、楠本まき、
津田大介、瀧波ユカリ、竹田ダニエル、
藤井サチ、渡辺満里奈 …7人と語り合う
フェミニズムとの出会いとこれからをまと
めた対談集!



「眠れなくなるほど面白い 図解 認知バイアス」 高橋 昌一郎(監) / 日本文芸社

「認知バイアス」は物事の判断が、
偏見や先入観、歪んだ情報・データ、
個人的経験則・記憶、思い込みなど
によって、非合理的になる心理現象。
本書では、数ある「認知バイアス」
をはじめ、知っていると生活にも役立つ
ものを中心に厳選して、図解でわか
りやすく伝える。



DVD

職場の力を育む人権シリーズ「ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う」 企画・製作: 東映株式会社 (26分)

職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこには様々な人権課題が存在しています。本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える想いに目を向けること、そして気づいた違和感(=ハテナ)を伝えあうことの大切さを示します。



4月は「若年層の性暴力予防月間」

4月は内閣府の定めた「若年層の性暴力予防月間」です。

性暴力は、暴力の一つで、性行為に関する無理強いや脅し、嫌がることを強要される行為のことで、誰でも被害者や加害者になり得る身近な問題です。

自分も相手も大切にするために、正しい知識を身につけ、相談できる場所を知っておくことが大切です。

▼ 性暴力ってどんなこと？

- ・ 無理やり性行為をさせられる
- ・ 性的な関係を強要される
- ・ 同意なしに体を触られる など

SNSを利用した性被害

言葉巧みに誘導され、自分の裸の画像を送信させられたり、わいせつな行為をさせられるケースがあります。



デートDV

恋人からの暴力をデートDVといいます。暴力には身体的、精神的、経済的、社会的、性的な暴力があります。

性暴力は、年齢、性別にかかわらず起こります。

どんな理由があっても、性暴力は許されません。一人で悩まず相談しましょう。

▼ 性暴力を防ぐためにできること

- ・ 自分の気持ちを大切にすること
- ・ 相手の同意を必ず確認すること
- ・ 困ったときは、信頼できる大人や相談窓口にご相談すること
- ・ SNSやメッセージでのやりとりも、自分の身を守るために注意すること



性暴力・性犯罪・DVでお悩みの方の相談窓口		
性暴力性犯罪 ワンストップ 支援センター	はやくワン(ストップ) #8891	24時間受付、最寄りのワンストップ支援センターに繋がります。
性暴力に関するSNS相談 「Cure time キュアタイム」	https://curetime.jp/	24時間受付、17時～19時までSNSで相談できます。
性犯罪被害相談電話	ハートさん #8103	24時間受付、発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪相談電話窓口につながります。
DV相談ナビ	はれれば #8008	最寄りの配偶者暴力相談支援センターにつながります。

相談窓口を開設しています ～プライバシーは厳守します。お気軽に相談してください～

DV・離婚などに関する相談

<問合せ・ご予約はこちら>

イコールふくやま相談室

●電話 084-973-8896 ●受付時間 8:30～17:15

(土・日・祝・年末年始を除く)

平日相談(託児あり:要予約) 電話相談・面談相談	月曜日～金曜日	10:15～16:30
女性相談 電話相談・面談相談	毎週土曜日 毎月第2・4日曜日	13:00～16:30
男性相談 電話相談・面談相談	毎月第1・3・5日曜日	

※祝日・年末年始は除きます。原則1時間程度です。詳細はお問い合わせください。

※電話相談、面談相談ともに、原則として予約をお願いいたします。

男女共同参画の視点を取り入れた防災

“災害は忘れたころにやってくる” だから日頃からの備えがとても大切です。また、災害に遭うと女性ならではの大変さや必要なものがあります。女性や子育て家庭に役立つ情報の一部を紹介します。

女性の
ための

災害時の防犯対策

災害時は、犯罪が増える傾向に。嫌な思いをしないためにも災害時のリスクを理解し防犯対策を行いましょう。

オシャレよりも機能性の高い服装を

オシャレよりも機能性を重視しましょう。
マスクも活用して。



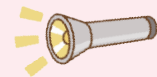
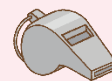
ひとりで行動しない

給水所など自宅以外の場所へ行く際は家族や友達、近所の人と行動を。一人暮らしの女性は安全な家に友達と共同生活をするリスクを軽減できます。



普段から持っておきたい防犯グッズ

防犯ブザーやホイッスルなど大きな音が簡単に出せるものは必需品。犯罪の抑止につながります。いざ危険が迫った時にすぐ使えるグッズを普段から携帯しておくようにしましょう。また、肌を隠せる膝かけなどがあるとベター。



なぜ、避難所運営に男女共同参画の視点が必要なのでしょう？

避難生活における身体的、精神的ストレスによる関連死を防ぐためには、地域に暮らす多様な人たちに配慮した取組が大切です。災害時には、より弱い立場におかれる人々が安心できる避難生活を送るために、多様性を配慮した視点を活かした取組が必要です。

炊き出しは、女性の仕事だと思
い込んでいませんか？



人が出入りする場所で、着替え
や授乳を行いたくありません。

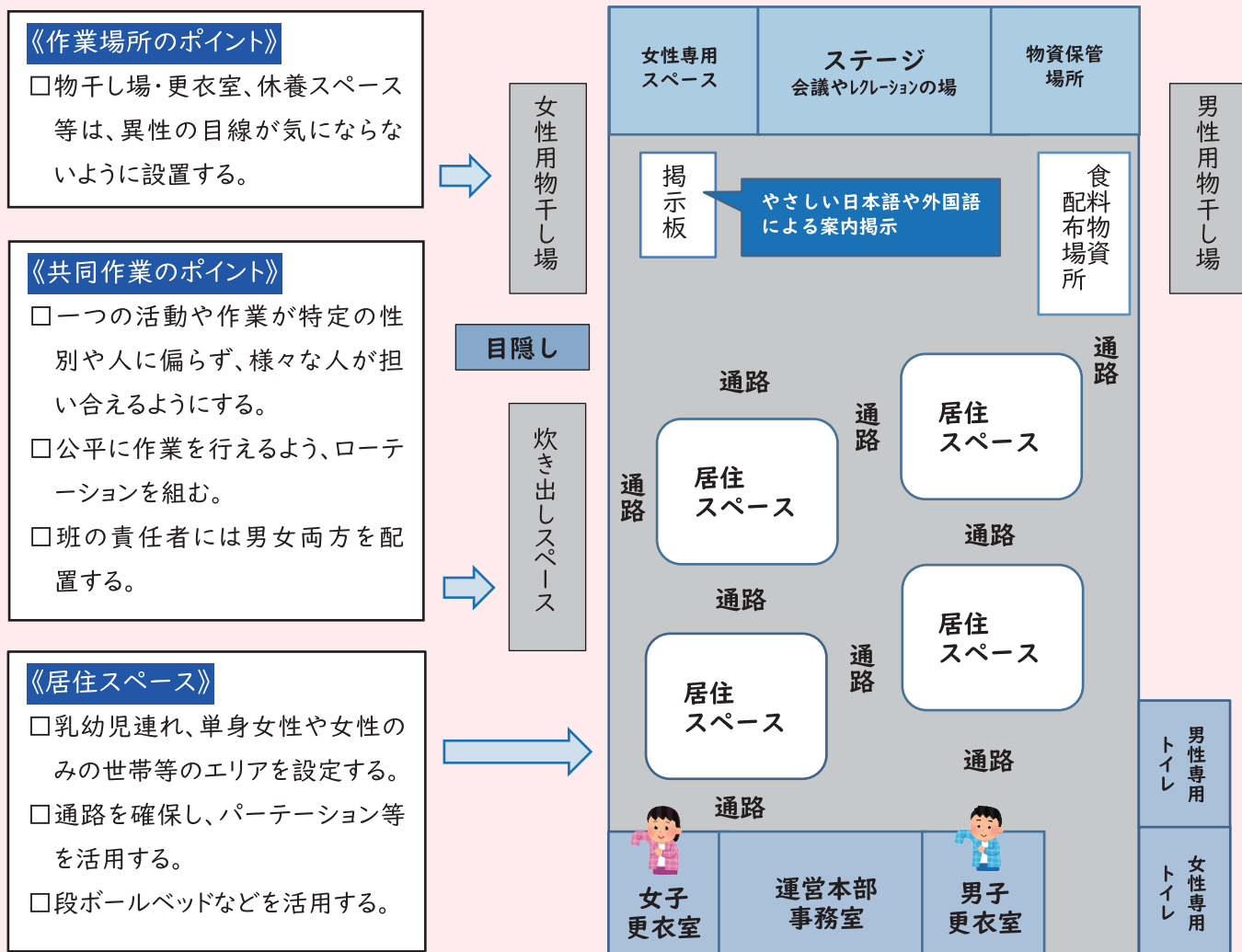


家族でも最低限のプライバシー
の確保をしたい。



みんなが安心できる避難所にするために

避難所では、限られた空間で多くの人々が集団生活を行います。普段から、施設の利用やレイアウト、運営方法などについて、施設の管理者、地域住民、関係者で話し合いをして、避難所運営マニュアルに反映させていきましょう。



女性防災リーダーより

様々な人が一緒に生活する避難所では、場合によって負担や不安に感じることも生じます。防犯・衛生対策など問題点は様々ですが、中でも女性は妊娠・育児・その他で直面する場面が増えます。

だからこそ、平時から多様な人が集まって意見を出し合い、防災計画に反映させることが大切です。安心・安全で強い地域をつくるためにも、防災における男女共同参画は、欠かすことのできない視点だと考えています。

今後も女性防災リーダーとして、誰もが安心して生活できる避難所の環境整備の実現に取り組んでまいります。



福山防災リーダー連絡協議会
女性部会長 宮林 倫子さん

アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み) ⑤

【地域・まちづくり編】

「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」の詳細については、二次元バーコードからご覧ください。本号は、地域で起こりやすいアンコンシャス・バイアスについて紹介します。



「equal」
第59号

みんなのまちだから地域活動にはみんなで参画！！

まちづくりや防災、環境問題など地域の活動はさまざまです。地域に住む誰もが性別や年齢に関係なく地域活動に参画することで、ボランティア意識や地域社会の連帯感が高まることが期待されます。地域には子どもや高齢者、障がいのある人、外国人など多様な人々が暮らしています。これらの住民の声が反映されるには、地域のことを決める場に、多様な人々が参画し、みんなの意見が尊重されることが大切です。

地域で起こりやすいアンコンシャス・バイアスの例

自治会長やPTA会長は、男性の方が向いている

災害対応、男性は前線、女性は後方支援

女性が淹れたお茶は美味しい！

外国人市民はゴミ出しの分別ができない

高齢者はITが苦手だ

女性は防災や自治活動に消極的である

ご存知ですか？福山市人権尊重のまちづくり条例 2021年9月30日公布・施行

人権尊重のまちづくりとは、「全ての人々が基本的人権をもっているかけがえのない個人として尊重されなければならない」という考えのもと、「差別のない、誰もが真に大切にされる社会」の実現に向けて、様々な取組を行っていくというものです。

「無意識の思い込み発見かるた」を作成しました ～ぜひ活用してください!!～



さ

災害は
自分の近くで
起こらない？

さ



ま

まちづくり
女性の意見は聞かんのん？

ま

この「かるた」は、市民のみなさんから聞いた無意識の思い込みの体験をもとに作成しました。この「かるた」を使いたい方は、多様性社会推進課(人権推進担当)【電話 084-928-1006】までお問い合わせください。